

平成 28 年 9 月 16 日
東京厚生信用組合

第 4 回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者で構成される「経営諮問会議」を設置しております。

本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第 4 回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第 5 回会議は、平成 29 年 1 月頃に開催する予定です。

— 記 —

1. 日 時 平成 28 年 8 月 1 日（月） 10 : 00 ~ 12 : 00

2. 場 所 東京厚生信用組合 本店

3. 出席者

(経営諮問委員) (五十音順、敬称略)

鈴木 豊 (公認会計士)

傳田 純 (東京都商工会連合会 専務理事)

西岡 修 (社会福祉法人 白十字会 白十字ホーム ホーム長)

(東京厚生信用組合)

稲村 久仁雄 (理事長)

中山 功 (常務理事)

高原 伸二 (常勤理事)

平山 圭樹 (常勤監事)

稲葉 文男 (企画部長)

4. 稲村理事長挨拶骨子

平成 27 年度は、「第一次経営強化計画」の最終年度でありましたが、お陰様で、計画の各種指標につきましては、全て達成することができました。

本日は、平成 28 年 6 月末に金融庁に提出した「第二次経営強化計画」の骨子と具体的な計数計画について説明をさせていただき、合わせて 4 月～6 月の進捗状況について報告させていただきます。

第二次経営強化計画期間は、当組合の真の実力が試される時期と認識しており、引き続き役員一体となって取り組んでいく所存ですが、委員の皆様には当組合の今後の運営について忌憚のないご意見・ご助言を頂戴できますようお願い申し上げます。

5. 当組合からの説明内容

稲葉企画部長より以下の内容について説明いたしました。

- ・第二次経営強化計画の骨子について
- ・経営強化計画の履行状況（平成 28 年 6 月末現在）

6. 会議における主な意見

出席委員の皆様から以下のご意見・ご提言をいただきました。

- 第一次経営強化計画の履行状況については、円安や不動産市況の活況等、追い風が吹いたとのことであるが、計画指標を全て達成できたことを評価したい。

しかし、これから真の実力が問われる時期を迎えるにあたって、一番大事なのは組合一体となった組織体制をしっかり維持していくことだと思う。

- 組合が一番得意とする分野を伸ばし、70 名強の組織で第二次経営強化計画の完遂を目指してほしい。

- 東京都の福祉の団体の中には東京厚生信組を知らない、付き合いがないという先が多い。

現在、東京都の介護福祉の業界では、以下のような特徴的な動きが出ているが、これらの情報は施設長の集まり等で得られるものであり、東京厚生信組も色々な機会をとらえて業界の人達から情報収集に努めてほしい。

また、都内の法人・施設（高齢者・障害者・児童等）に対して東京厚生信組の PR、アピールが必要だと思う。

- ・最近の福祉関連の法人は、本部機能の強化を図り、ホームの経営の中心になってきている。
- ・都内では、最近施設の建て替えが大きな問題になっている。
- ・都内の法人の財務内容は、地方の法人に比べ、あまり良いとは言えない。都内

における特別養護老人ホームの開設が、地方の法人によって占められているのも、その表れである

- ・グループホームの整備率は、都は47位と最下位であり、都内における施設整備の潜在的なニーズは大きい。
- ・平成28年3月の社会福祉法の改正により、小さな法人の合併や事業所間の連携が必要となってきた。

- 第一次経営強化計画を終えての課題認識は的確に整理されているし、これに対する施策も、おそらく重要なものはすべて網羅されていると思うが、これを具体的に進めることは大変なことだと思う。強力なトップマネジメントのリーダーシップのもと推進して欲しい。
- 組織体制の考え方は、営業店に力を与える（営業店の推進力に期待する）というような印象であるが、営業店だけではできないことが数多くある。職員のマンパワーをどれだけ集約して一つにしていくか、内外の全体をみて推進していかないとけないのではないか。まさに総動員体制というのが必要だと思う。
- 現在、企業の事業承継は大きな問題となっている。これらの悩みに適切にアドバイスができるようになれば、目利き力の強化にもなるし、金融機関の評判にも繋がり、顧客も増やしていけると思う。

7. 稲村理事長からの回答

大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

既に始まっている第二次経営強化計画の達成に向けて頑張っていきたいと思えます。

以上